

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

① 研究課題名	甲状腺分化癌に対する放射性ヨウ素内用療法（RAI）後の長期治療成績：再発形式、再手術および全身薬物療法開始までの期間に関する後ろ向き観察研究
② 対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2005年から2020年までに本学を受診し、RAI治療が行われた甲状腺分化癌の患者さん
③ 概要	RAIのあと、長い期間でみた治療の結果や、がんが再発した場合の再発のしかた（首のリンパ節、離れた場所への転移など）、再手術の有無、そして必要に応じて全身の薬物治療（分子標的薬や免疫治療など）を始めるまでにどのくらい時間がかかったかをまとめます。これにより、より適切なフォローアップ方法や治療のタイミングを検討することを目的とします。
④申請番号	2025-0355
④ 研究の目的・意義	甲状腺分化がんは経過が長く、再発の仕方や治療のタイミングは患者さんによって異なります。本研究でRAI後の再発の特徴や治療までの流れが整理できると、今後のフォローアップでどのような点に注意すべきか、どの段階で追加治療を検討するのがよいかを考えるための基礎資料になります。これにより、より適切な経過観察や治療方針の検討につながり、将来の診療の質の向上に役立つことが期待されます。
⑤ 研究期間	倫理審査委員会承認日から2028年3月まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	カルテ録から識別情報（年齢、性別）、既往歴、病理診断、治療法、予後情報、などを調査します。使用するデータは個人が特定されないように情報処理を行い、研究に使用します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	病歴、既往歴、原発部位、病理診断、治療法、予後情報、など
⑨利用の範囲	新潟大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 教授 堀井 新
㊦お問い合わせ先	耳鼻咽喉科 医局 高橋剛史 電話：025-227-2306 tt_niigata@yahoo.co.jp